

2位

沈ハヌリ（シム・ハヌリ） 韓国

KCP 地球市民日本語学校

お金よりも大切なもの

先日、私は大学生の息子を持つ、日本人の母親とお茶をしました。その母親が不満そうな顔をして私にこぼすには、その息子さんが最近、大学の授業以外には全然外に出ないと言うのです。私はその理由を聞くと「息子は、外に出るとお金を使っちゃうから、なるべく出ないようにする」と言うのです。これを聞いて私は自分の経験や失敗から、「お金も時間も大切だけれど、若いときにはもっと大切なことがたくさんあるのに」と、強く思いました。最近の若い世代は「悟り世代」、欲がない世代と呼ばれるそうです。何かを欲しがるよりも今あるものを守る、傷付かないために新しいことに敢えて挑戦しない若者たちの世代です。以前、私も似たような考えを持つようになり、大失敗をしました。

恥ずかしい話ですが、私は父親の度重なる事業の失敗のために貧乏な家庭に育ちました。そして父の代わりに母が働いて、私を養育してくれました。そのような環境に育ちながらも、私は、お金だけが人生の全てではない、一生懸命に働くけれどお金持ちになるよりも立派な内面を備えた人になろうと自分で決めていました。アルバイトをして、学校に通い、独学で日本語の勉強を続けるうちに日本語がもっとしゃべれるようになりたい、留学して日本人と対等にコミュニケーションができるようになりたい、もっと広い世界に出てみたいと考えて、約1年半かけてバイトしてお金を貯めました。日本に留学するために…。

そして7年前に日本に初めて留学しました。しかし、現実は思うようにはうまく行きませんでした。初めての一人暮らしに一年以上かけて貯めたお金はすぐに底をつき、せつかく夢見た日本に来ているのに、私は日々お金のことばかり心配して、遂に住む場所もなくなり、途方に暮れ、間もなく母国に帰らざるを得なくなりました。母国に戻ってから再び日本留学のために頑張りましたが、何度も壁にぶち当たり挫折を繰り返しているうちにお金がない不安を覚えてしまった私は、ただただお金を貯めようとしてお金稼ぎ以外には何もしなくなりました。そうしていつの間にか、自分自身を忘れて、日本で勉強する夢も日本で働く夢も自分の中ではただの夢物語になり、実現できない理由ばかりを並べて動かない自分、惨めな思いをしたくないから頭の中で失敗するかしないかを計算し、安全なことしかやろうとしない自分、「やってみよう」というリスクに挑戦することを恐れる自分になっていました。結局、最近の「悟り世代」の若者になっていたのです。

ところがある日、これから何をして、どう生きて行くべきか自分の将来について考えて、私ははっと気が付きました。自分は何が出来て何をやりたいのか、という自分の素朴な目標に気付いて、私はもう一度日本留学の夢を思い出し、改めてバイトでしっかりとお金を貯めて、今日また日本へ留学してきました。私は大事な時期に大きな失敗をしましたが、もう一度挑戦することで自分と向き合ってみよう、いろいろな経験を通して自分を理解することが出来る、私は回り道の末にこのことに気付きました。積極的に外に出て様々な人と会うことで、自分の考えも、自分の世界も一層広がるのです。どんな人間でも失敗しない人生は不可能です。それなら失敗を恐れるより、「まずはやってみよう。経験は自分にしっかり残る。そしてお金よりも大切なもの、それはその経験である」と前向きに考えましょう。

ご清聴、ありがとうございました。